

関係者各位

新年あけましておめでとうございます。

旧年中は当法人の活動に対し、様々なご支援とご理解を賜りまして、厚く御礼申し上げます。一昨年から続く、新型コロナウイルスの影響により、対策を十分に実施して、活動の方向転換を図り、オンラインツールなどを駆使して、コミュニケーションを図りながら活動を実施しております。

昨年度より引き続き実施している「オンラインツールを使用した学生と創る『共生型まちづくり』」に関して富山県から高い評価を得ることが出来、補助事業の継続となりました。石鹸やハーバリウムアトマイザーを試作していく中で、クラウドファンディングを実施し多くの支援をいただき、この成果を何とか「就労」と結びつけながら思案し、健常者も含めて合同会社を設置、一般販売まで結びつけるという試みを行いました。就労ではなく、「起業」を行ったことで一つの働き方への提言となり、障害者支援団体運営に関するモデルケースになり得たのではないかと、僥越ながら自負をしております。

また、患者会に関しては、法人運営に関する基幹事業で捉え、会員様や患者様の要望に応じて、大小多くの会を開催しました、特筆すべきは、Sococo というバーチャル空間を開放しての会員様、会員様の交流の場を設け、茶話会がや交流がメインであります。新しい試みとして、薬剤師によるバーチャル質疑応答企画を行い、大きな成果を生むことが出来ました。

また、開催期間中ではありますが「ヘルプマークとヘルプカードを勉強しよう！」というイベントを神奈川ー沖縄ー富山を繋げて、Zoom を用いて啓発活動を実施しております。

すべての事業・イベントは、線維筋痛症と筋痛性脳脊髄炎/慢性疲労症候群患者の皆さまの社会との接点の創出や社会参加を意図して実施しております。なかなか外出が困難な患者さまでも気持ちの上においては、前向きになれるよう創意工夫を凝らしております。本年は、引き続き「医師の育成」と「就労」に関して、より一層焦点を当てて事業を遂行しながら、患者会を充実させていく所存であります。

末筆ではございますが、会員様、患者様、地域の皆様、私ども特定非営利活動法人えがおを支えてくださり、ご関心をお持ちのすべての皆様のご多幸とご健勝を祈念し、私の新年のご挨拶とさせていただきます。

2022 年元旦
特定非営利活動法人えがお
理事長 烏井 謙祐